

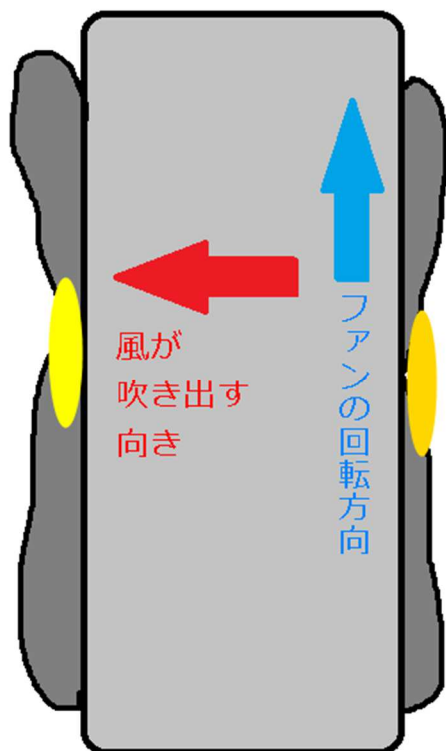
⑧ エアフローは大事だよ～



PC ケース内の空気圧構成

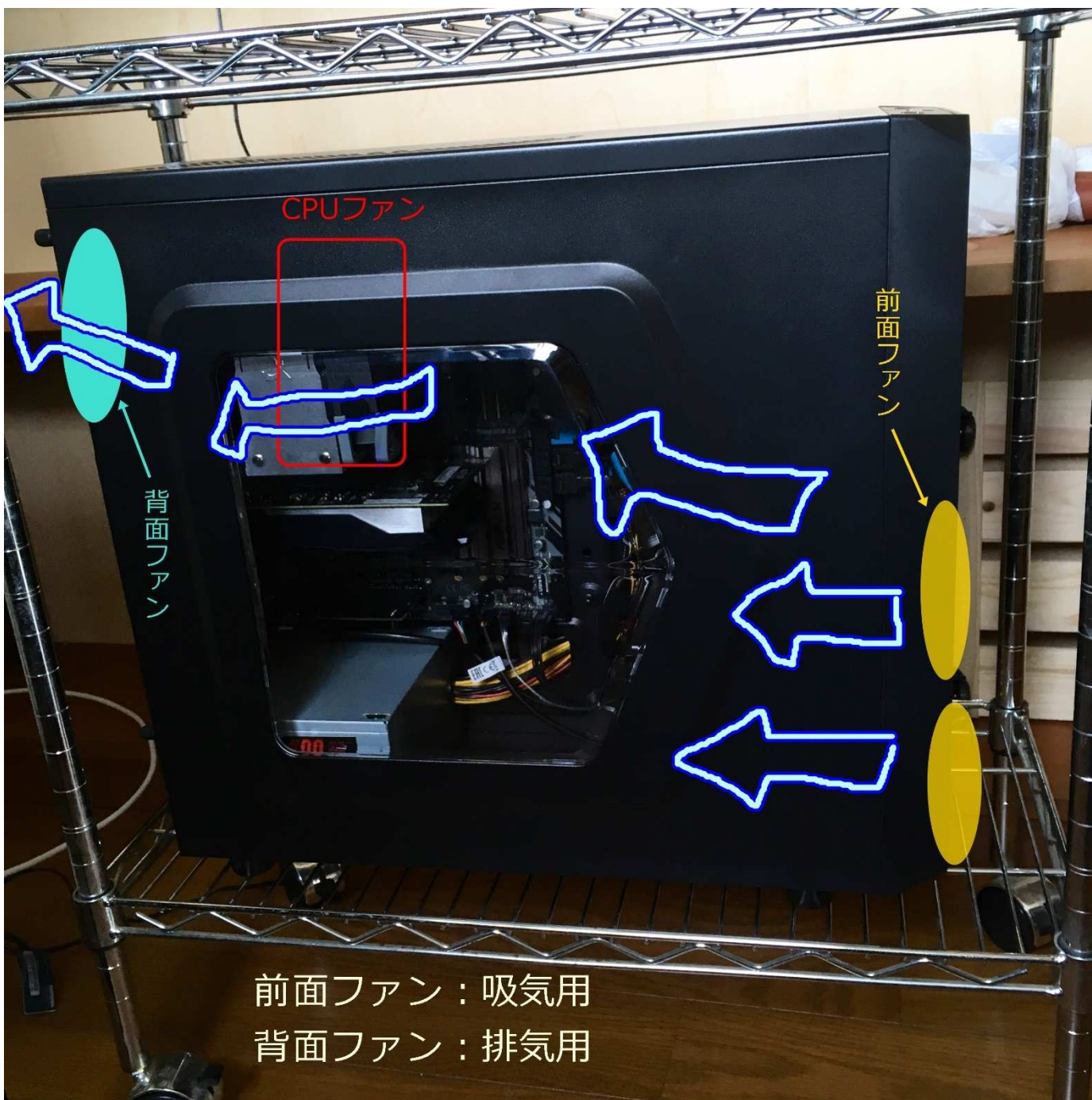
基本	吸気＝排気
正圧	吸気過多状態
負圧	排気過多状態

PC 用のファンには、ケースファン、CPU ファンとも、ファンの回転方向と風が吹き出す向きとが、本体側面に矢印で記されています。風が吹き出す向きの矢印を PC ケースの内側に向けてファンを設置すれば「吸気」になり、外側に向けて設置すれば「排気」になります。



ファンケーブル差し込み口によっては、最低限のケーブルの長さで接続するためには、矢印が見えないような設置の仕方をしなければならないこともあります。その際は、風が吹き出す方向に貼ってあるラベルの柄を覚えておいて、「吸気」にす

るか「排気」にするかを決めます。基本は、前面を「吸気」、背面を「排気」にします。



画像の構成だと、前面ファン（吸気で設置）×2、背面ファン（排気で設置）×1です。
CPUファンは吸気をつけています。
吸気で設置しているファンのほうが多いので、正圧構成です。

前面ファンと背面ファンが同数でも、前面、背面とも「吸気」に設置すれば正圧になり、「排気」に設置すれば負圧になります。正圧の特徴は、ケース内にホコリが入りにくいですが、マザーボードやCPU等、ケース内の冷却効率は若干下がります。負圧の特徴は、ケース内の冷却効率が上がりますが、ケース内にホコリが入りやすくなります。冷却効率と防塵性は、残念ながら両方同時に高めることは厳し

いです。なお、前面、背面以外にファンを取り付ける場合は、底面、側面は「吸気」に、上面は「排気」にすることが多いです。